

市民アンケートの実施について

1 アンケートを実施する項目について

有料化財源活用方法に係る主要な論点ごとに、市民アンケートの実施必要性の観点から考え方を整理すると以下のとおり。

(1) 有料指定袋の価格について

- ・資料3に示した『現在の指定袋の価格によって、家庭ごみが大幅に減量し、現在も減量効果が維持されている状況を踏まえ、現時点では指定袋の価格を維持しつつ、有料化財源を活用し、ごみ減量・リサイクルの取組を更に拡大することが必要ではないか。』との考え方について、市民の意向を確認しておくことが必要である。【ア】

(2) 有料化財源を活用する分野について

- ・有料指定袋制導入当時から3つの分野（①ごみ減量・リサイクルの推進、②まちの美化の推進、③地球温暖化対策）を基本とする考え方については、審議会答申「指定袋制導入の具体的あり方について」及びその後の市民意見を踏まえた内容であることから、あらためて市民の意向を確認する必要はないのではないか。
- ・市民がどういった施策を望んでいるか、そのニーズを把握することは必要である。【イ】

(3) 3Rの推進に資する施設の運営、整備に関する費用への充当の是非について

① 運営費

- ・運営費への充当については賛否両論があるため、「ごみ減量・リサイクルの推進」、「市民への還元」という有料化財源の活用に係る基本的な考え方を踏まえた上で、市民の意向を確認することは必要である。【ウ】

② 整備費

- ・平成32年度までにごみの量をピーク時の半分に減らす取組を進めるうえで、将来的にも環境施設の整備は不可避であることを踏まえ、こうした施設整備への積立金の活用について、市民の意向を確認することが必要である。【エ】

(4) 活用施策の内容や成果の見える化について

有料化財源の活用方法について、市民への周知が必ずしも十分ではないとの意見もあることから、市民の認知度と、情報入手ルートを確認することで、今後の効果的な周知方法の検討材料とすることが必要である。【オ】

(5) 市民ニーズに応えた施策への充当について

3つの分野を基本に本市の既存施策を性質により分類し、市民の意向を把握することが必要である。【イ】



以上を踏まえれば、以下の項目についてアンケートを実施すべきではないか。

ア 有料指定袋の価格について

イ 有料化財源を活用して実施してほしい事業

ウ 環境施設運営費に有料化財源を活用することの是非

エ 環境施設整備費に有料化財源（積立金）を活用することの是非

オ 有料化財源活用事業の市民の認知度、情報入手方法

2 アンケート調査票（案）について

別添のとおり。

3 アンケート実施方法・スケジュール

(1) 調査対象

市内全域 3,000 世帯（業者収集マンションは除く）

(2) 調査方法

まち美化事務所の職員が、調査票を担当区域ごとに無作為に配布し、回収は郵送により実施。

※調査票にリサイクルボールペンを同封することで、回収率の向上をはかる。

（参考）各区の配布数

北区 上京区	左京区	中京区	東山区	山科区
460	330	180	100	390
下京区	南区	右京区	西京区	伏見区
150	190	420	300	480

(3) その他

3,000 世帯に配布する以外に、エコまちステーションの来客者に対する配布も行う。

(4) スケジュール

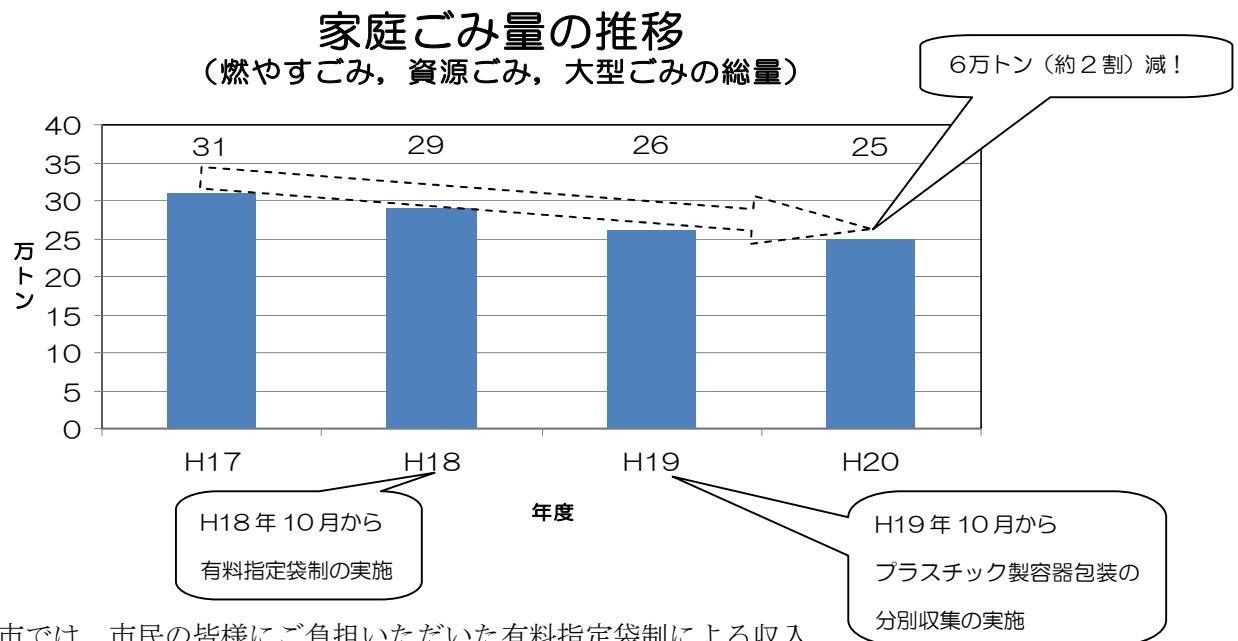
日付	内容	備考
6月17日(木)	第1回WT	アンケート案を審議し、終了後、アンケート案を訂正
6月21日(月) の週の前半目途	アンケート配布	
7月上旬	アンケート回答締切	アンケート配布日からおおむね10日後
7月中旬までに	アンケート結果の集計・解析 第2回WT 資料への反映	

京都市の家庭ごみ有料指定袋制に関する アンケート調査へのご協力のお願ひ

平成22年6月
京都市廃棄物減量等推進審議会

皆様におかれましては、日頃から京都市の環境行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

京都市では、家庭ごみの減量・リサイクルの促進につながる効果的な施策として、平成18年10月から有料指定袋制を実施しています。皆様のご理解とご協力の下、制度実施前と比較して、**約6万トン（約2割）の減量**を図ることができました。



京都市では、市民の皆様にご負担いただいた有料指定袋制による収入（有料化財源※）を、「京都市民環境ファンド」に組み入れ、① ごみ減量・リサイクルの推進、② まちの美化の推進、③ 地球温暖化対策の3つの分野の事業に活用しています。

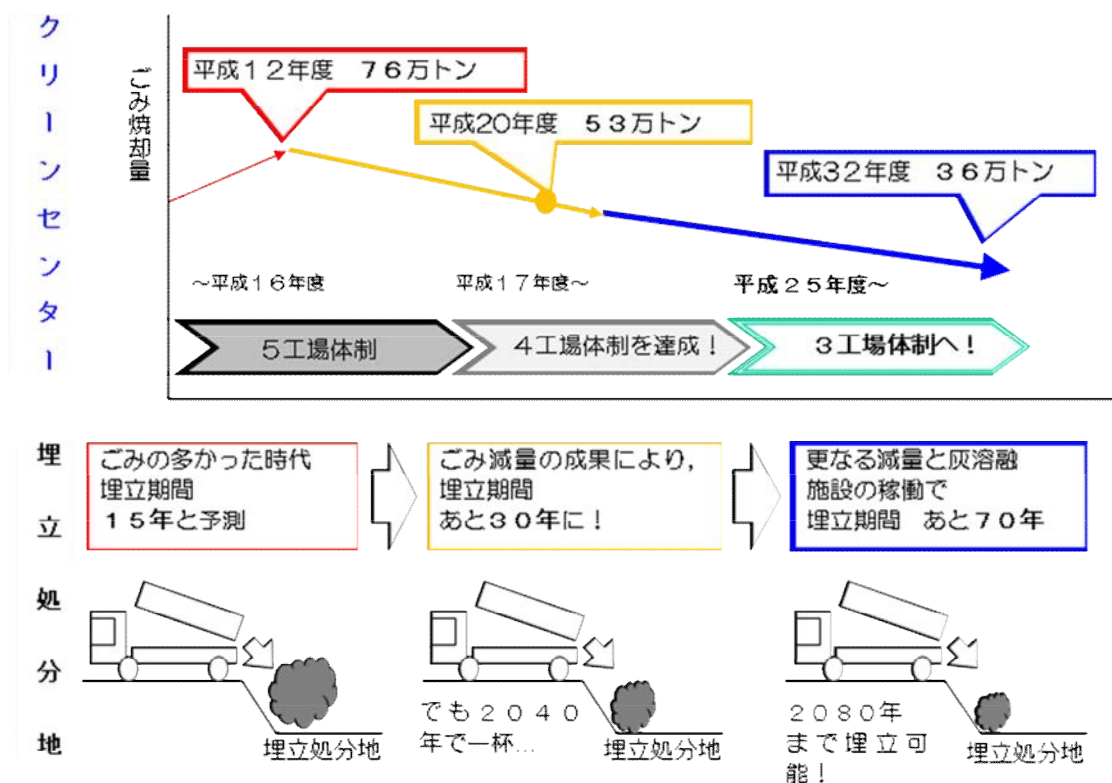
～ ※ 有料化財源とは ～

有料指定袋制による収入から袋の製造経費など必要経費を差し引いた額で、平成22年度予算では9億6,710万円を見込んでいます。

【裏面に続きます】

京都市は内陸都市であり、これ以上埋立処分地を造ることは困難であることから、今後さらにごみを減らさなければなりません。

このことから、有料化財源を活用した取組をさらに促進するなど、ごみ減量・リサイクルの取組を強化していくことが求められています。



この度、市民の皆様のご意見をアンケート調査で把握させていただき、有料指定袋制の今後の運用に向けた基礎資料として活用させていただきたいと考えています。

つきましては、調査の目的をご理解いただき、回答へのご協力をお願いいたします。

- ☐ 本アンケート調査は、市内にお住まいの方の中から無作為に選んだ 3,000 世帯の方にご回答をお願いしています。
- ☐ 回答は、別添の調査票に直接ご記入ください。
- ☐ 回答いただいた内容につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。
- ☐ ご記入が終わった調査票は、平成22年7月 日（ ）までに、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに郵便ポストへ投かんしてください。

～ 調査票記入用に、リサイクルボールペンを同封しております ～

ご質問等がありましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。

■ 京都市廃棄物減量等推進審議会事務局

京都市環境政策局 循環型社会推進部 循環企画課（担当：河添、^{いんどう}犬童）

TEL：075-213-4930、 FAX：075-213-0453

調 査 票

※ごみの排出等、普段ごみを扱う機会が多い方がご回答ください。

Q 1 普段どのようにしてごみを捨てていますか。

(あてはまるもの 1 つに○)

1. 有料指定袋に入れて京都市にて収集 2. 一般の透明袋に入れて民間事業者にて収集 3. 一般の透明袋に入れて民間事業者にて収集



資源ごみのみ有料指定袋に入れて京都市にて収集



Q 2 有料指定袋制が導入されてから、ごみの出し方やごみの減量・リサイクルに関する取り組み方が変わりましたか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 集団回収，古紙回収，店頭回収（トレイ，ペットボトルなど）などを活用するようになった
2. 資源ごみ収集に積極的に出すようになった
3. 包装の少ない商品を買うなど，買い物時の考え方が変わった
4. 紙箱をつぶす，切る，詰め込むなど，出し方が変わった
5. あまり変わっていない
6. その他

Q 3 有料指定袋の価格についてお伺いします（現在の袋の価格：45リットル袋1枚45円）。

指定袋制を導入後、皆様の御協力により、家庭ごみが約2割減少し、現在も減量効果が維持されています。

一方、京都市は内陸都市であり、埋立処分地の拡大が難しいため、さらなるごみの減量が必要です。

また、有料指定袋制を実施しているほとんどの市でごみが減量しており、一定の負担感を感じていただくことが、ごみの減量につながっているとも考えられます（全国市町村の平均：大袋（40～45リットル）1枚43円）。

こうした状況を踏まえ、現在の価格について、皆様はどのようにお考えになるでしょうか。

(あてはまるもの 1 つに○)

1. さらなるごみの減量につながるよう，負担感を上げるべき
2. 現在の程度の負担感は仕方ない
3. ごみの減量は重要であるが，負担を感じる
4. 負担感が大きい
5. わからない

Q 4－1 京都市では、家庭ごみの有料指定袋制による収入(平成 22 年度予算額 9 億 6,710 万円)を活用し、①ごみ減量・リサイクルの推進、②まちの美化の推進、③地球温暖化対策の 3 つの分野に限定して様々な事業を行っていますが、このことをあなたは知っていますか。

(あてはまるもの 1 つに○)

1. 知っている 2. 知らない

Q 4－2 以下に有料化財源を活用している事業のごく一部を示しますが、質問項目の(1)～(3)について、該当する口にチェック(☑)を入れてください。

((1)で事業の内容をご存知ない場合、(2)、(3)の質問への回答は不要です。))

分 野	事 業	質 問 項 目		
		(1)事業の内容を知っていましたか？	(2)事業を活用したことはありますか？	(3)事業に有料化財源を活用していることを知っていましたか？
① ごみ減量・リサイクルの推進	蛍光管、使用済てんぷら油等資源物の回収拠点の支援	☐ は い ☐ いいえ	☐ は い ☐ いいえ	☐ は い ☐ いいえ
	ごみの処理・リサイクルを行う施設の見学会の実施(ごみ減量エコバスツアー)	☐ は い ☐ いいえ	☐ は い ☐ いいえ	☐ は い ☐ いいえ
②まちの美化の推進	市民の自主的な美化活動に必要となるごみ袋の配布やカラスネットの貸与	☐ は い ☐ いいえ	☐ は い ☐ いいえ	☐ は い ☐ いいえ
③地球温暖化対策	住宅への太陽光発電システム設置に対する助成	☐ は い ☐ いいえ	☐ は い ☐ いいえ	☐ は い ☐ いいえ

Q 5－1 下記の一覧に、現在有料化財源を活用して実施している事業を記載していますが、今後、有料化財源を活用してどの程度実施すべきと思われますか。以下の中から該当する番号に○をつけてください。また、他に積極的に実施すべき事業があれば、その他欄にご記入ください。

(一覧)			① 拡大すべき	② どちらかといえば拡大すべき	③ 拡大すべきでない	④ 実施すべきでない	⑤ わからない
分 野	事 業	事業内容					
ごみ減量・リサイクルの推進	市民活動への支援	・蛍光灯や使用済てんぷら油等の回収拠点の設置 ・地域の古紙等の集団回収に対する助成 など	1	2	3	4	5
	団体等への支援	・区役所等と協力して実施するごみ減量の取組への助成 ・環境分野における新技術開発資金への助成 など	1	2	3	4	5
	市民等への支援	・電動式生ごみ処理機・生ごみコンポスト容器購入の助成 など	1	2	3	4	5
	普及啓発の推進	・ごみの処理・リサイクルに関する施設見学会の実施 ・ごみに関する情報誌の作成・配布 など	1	2	3	4	5
まちの美化の推進	まちの美化活動の推進	・市民の自主的な美化活動に必要となるごみ袋の配布 ・カラスネットの貸与 など	1	2	3	4	5
	ごみの不法投棄対策	・パトロールや監視カメラ貸与制度による監視体制の強化 ・不法投棄頻発地域での撤去活動 など	1	2	3	4	5
地球温暖化対策	環境にやさしいエネルギー活用の推進	・住宅への太陽光発電システム設置に対する助成 ・電気自動車の市民向けの共同利用（カーシェアリング） など	1	2	3	4	5
	環境学習の推進	・小学生が家族ぐるみで取り組む環境学習プログラムの実施 など	1	2	3	4	5

Q 5－2 上記Q 5－1の一覧に記載しているもの以外で、上記の3つの分野で有料化財源を活用して積極的に実施すべきとお考えになる事業があれば、以下に具体的にご記入ください。

(具体的にご記入ください)

Q 6 現在、京都市では、ごみの減量とリサイクルを推進するために、資源リサイクルセンターの運営管理経費に有料化財源を活用しています。あなたはごみの減量・リサイクルに関する施設の運営管理経費に有料化財源を活用することについて、どのように思われますか。

(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 活用すべき | 2. 一部であれば活用すべき |
| 3. 活用すべきでない | 4. どちらでもよい |
| 5. その他（具体的に： | ） |

Q 7 京都市では、有料化財源を様々な事業に活用するほか、平成 21 年度より一部を「京都市民環境ファンド」として積み立てております。昨年度、京都市では、「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン」を策定し、ごみの量をピーク時の半分以上に減らす計画を進めています。今後、ごみの減量・リサイクルや環境学習等に関する施設の整備に当たって、積み立てている有料化財源を活用することについて、あなたはどのように思われますか。

(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 活用すべき | 2. 一部であれば活用すべき |
| 3. 活用すべきでない | 4. どちらでもよい |
| 5. その他（具体的に： | ） |

Q 8 ご意見をお伺いするのはこれで終わりですが、いただいたご回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについて少しお尋ねします。

1 性別

(あてはまるもの 1 つに○) _____

1. 男 2. 女

2 年齢

(あてはまるもの 1 つに○) _____

1. 20 歳未満 2. 20～29 歳 3. 30～39 歳 4. 40～49 歳
5. 50～59 歳 6. 60～69 歳 7. 70 歳以上

3 世帯人員

(あてはまるもの 1 つに○) _____

1. 1 人 (単身) 2. 2 人 3. 3 人 4. 4 人 5. 5 人
6. 6 人 7. 7 人 8. 8 人 9. 9 人以上

4 お住まい

(あてはまるもの 1 つに○) _____

1. 北区 2. 上京区 3. 左京区 4. 中京区 5. 東山区 6. 山科区
7. 下京区 8. 南区 9. 右京区 10. 西京区 11. 伏見区

5 職業

(あてはまるもの 1 つに○) _____

1. 自営業 2. 会社員・公務員など給与所得者 3. 主婦・主夫
4. アルバイト・フリーター 5. 学生 6. 無職
7. その他 ()

ご協力ありがとうございました。同封の封筒に入れて、ご返送ください。